

# 2019 年度 分野別計画進捗等報告書

体系番号  
01010104

## 1. 計画名称

茅野市障害者保健福祉計画

## 2. 計画全体の進捗状況及び総合評価

進捗評価	おおむね順調	説明	事業については順調に実施しているが、事業を継続していくための人材の確保等課題がある事項や、これから検討を重ねていく事項あり。その中で広域で検討を始めた事項もある。
今後の重点化施策番号	2	説明	障害者の社会参加のためには移動支援が必要であるがまだまだ十分ではない状況である。地域を基盤とした自立した生活が送れるよう、移動支援の課題を中心に災害時の支援体制など取り組んでいく。市単独では解決が難しい事項については諏訪地域の自立支援協議会で検討していく。

## 3. 各施策等における評価内容と改革改善

区分	施策名称	進捗評価	総合評価		改革改善の具体的内容
			主な取組内容や成果	課題	
1	自己実現と社会参加への支援	おおむね順調	成年後見支援センターの認知度が浸透し市民の相談も増えています。移動支援や自立支援医療の決定、手話通訳者の派遣等実施しました。	成年後見制度の申請者が増えてきていますが、後見人等が不足しています。専門職の数にも限界があるため市民後見人の育成が課題となっています。	市民後見人の育成に向け、広域で育成に取り組むよう、中核機関の設置について、諏訪地域6市町村と諏訪域内の3成年後見支援センターで協議が始まりました。
2	地域を基盤とした自立生活の支援	おおむね順調	児童のサービスと就労系サービスの利用者数が増加しており、当事者の自立した生活を支援しています。9月に放課後等デイサービス事業所が1ヶ所増えました。令和2年4月から就労継続支援A型の事業所が1ヶ所増える予定です。	障害福祉サービス利用者が増加していますが、障害福祉サービス事業所や計画相談支援員は増加に対し不足しています。人材不足が広域でも課題となっています。	・障害福祉サービス事業所や計画相談支援員の不足については諏訪地域共通の課題であり、諏訪地域障がい福祉自立支援協議会において取り組みが始まりました。 ・福祉21茅野就労WGが始まり、障害者の社会参加と就労環境についての検討が始まった。
3					
4					

※5つ以上の場合は裏面へ

## 4. 関連市民団体等の主な意見及び対応のポイント

	主な意見	市の考えや対応など
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		
関連市民団体等名称		
開催回数		
参加延べ人数		